

○本時の指導目標

- ・教え合い活動を通して、自己の課題の解決に向けた有効な練習方法を選択することができるようにする。
- (思考力、判断力、表現力等)

○学習の展開 (学習指導過程)

	学習内容・活動	指導上の留意点・ ★評価規準 (評価方法)	学習 形態	配 時
導入	1. 準備運動、予備運動、前時の確認をする。 ・回転系の予備練習 2. 本時のめあてを確認する。 めあて 自分の課題を発見し、課題に応じた練習方法を選択しよう。	○怪我の予防のため、種目の特性に応じた準備運動を行う。	一斉	1 5
展開	3. チャレンジしたい技を選択し、課題を解決する。 (1) チャレンジしたい技の選択をする。 ・後転グループの技の中から選択 (2) ビフォー映像と模範演技を比較し、課題を発見する。 ・ビフォー映像と模範演技の比較 ・課題をワークシートに記入 (3) 課題を解決する。 ・教え合い活動 【教え合い活動】の内容 ○グループで課題を共有する。 ○課題に応じた場を選択し、練習する。 ○変容を確認するために、タブレットを活用する。 ○技のコツを共有し、自分の動きに活かす。 ○共有シートで自分に合ったコツを発見する。 <場の工夫> ○技に勢いを出す → 坂道マット ○足が開かない (伸びない) → 段差マット <想定されるアドバイス> ○手を突き放そう ○手足をつく位置 ○体を丸めて、おへそを見よう ○手を耳の横につけよう ○足を伸ばそう	○自分でチャレンジしたい技を選択することができるように、ビフォー映像を見る時間を設定する。 ○自己の課題を発見することができるように、ビフォー映像と模範演技を比較し、ワークシートに記入する時間を設定する。 《ワークシートの活用》 ○他者からの助言を受けやすくするために、事前に見るポイント (課題の共有) を仲間へ伝える時間を設定する。 ○教え合い活動が活発に行われるように、巡視して適宜助言を行う。 ○課題に応じた場を選択することができるように、掲示物を準備し、生徒たち自身で確認することができるようにする。 ○技能の向上を確認することができるように、タブレットで出来映えを撮影する時間を設定する。 《タブレット端末の活用》 ○それぞれが考えた運動のコツを共有するために、共有シートに記入させる。 ※体育館内壁面に掲示する。 ○仲間から具体的なアドバイスを受けることができるように、「誰が」「どの種目」の助言ができるかを壁面に掲示する。	個人 グループ	3 0
終末	4. 本時の振り返りを行う。 まとめ それぞれの課題解決には、有効な練習方法を選択することが重要である。 5. 次時の確認を行う。	★課題解決のために、有効な練習方法を選択することができたかを確認する。(ロイロノート) ○負傷者の確認を行う。	一斉	5

【板書計画】

【めあて】 自分の課題を発見し、課題に応じた練習方法を選択しよう。

【授業の流れ】

- ① 準備運動
- ② チャレンジする技の選択
- ③ 課題発見
- ④ 解決に向けた練習（教えあい活動）

【課題解決に向けて】

- ① タブレットで見本映像と自分の映像の比較
- ② 共有シートで運動のコツ(つまずき)を知る
- ③ 友達の行う姿を見る
- ④ 友達にアドバイスをもらう
- ⑤ 練習場所の工夫（選択）

【まとめ】 それぞれの課題解決には、有効な練習方法を選択することが重要である。後関

【課題を解決していく場】

